

# 川崎市次世代自動車の普及に向けた充電インフラ整備の考え方【概要】1/2

国が策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」では、電気自動車（EV）等に関連した取組として、2035年までに、**乗用車新車販売で電動車 100%**を実現できるよう、包括的な措置を講じるとするとともに、充電インフラに関しては、**急速充電器3万基を含む充電インフラを15万基**設置するとし、補助や規制緩和等を行っている。また、**国は成長戦略に示した目標の実現や需要創出、車両価格の低減を促すために補助金を交付**している。本市においては、これまで川崎市地球温暖化対策推進基本計画やかわさきカーボンゼロチャレンジ2050等に基づき、取組を進めてきたが、昨今の国の動きや**EV等を取り巻く環境の変化などに対応し、普及を加速**させるためには、現状を把握し、取組を**計画的に進めていく**必要があるため、今回、EV等の普及に向けて、**インフラ整備の考え方として取りまとめ、計画的に取組を行う。**

## 1 目的、位置づけ等

- ✓ **EV及び充電設備の普及に向け、基本的な考え方**を示したもの
- ✓ EVが当たり前となっている脱炭素社会を実現させるために、**充電インフラの整備を促進**
- ✓ 川崎市地球温暖化対策推進基本計画や脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」、川崎市大気・水環境計画等に定めている充電インフラに関する様々な施策について、**各計画等の目標を実現させるための手段をまとめたもの**
- ✓ 上記計画等の期間を念頭に取組を行う

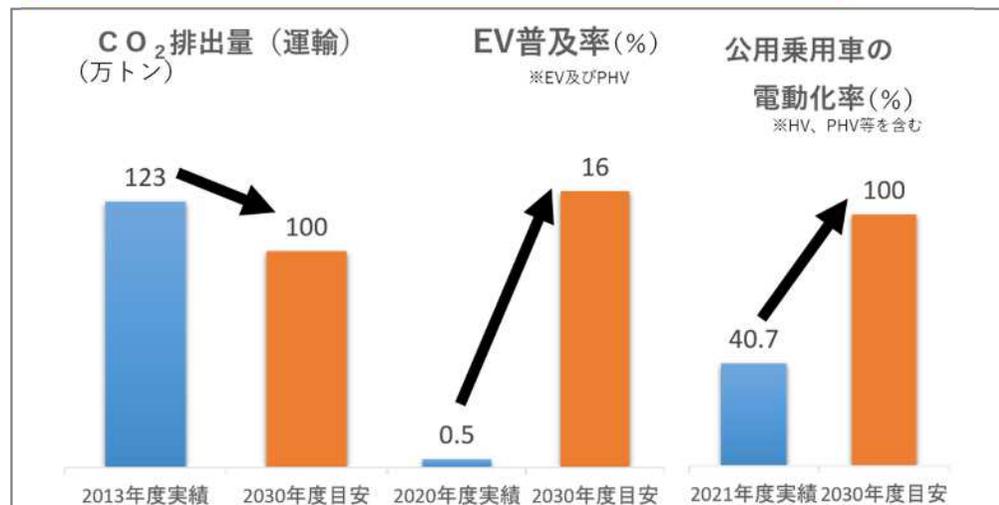


## 2 EVを取り巻く現状

- ✓ EV普及率の現状と目標 0.5%(現状)⇒**16%**(2030年度) ※EV+PHV
- ✓ EV購入者の**90%は戸建住宅**（市内は共同住宅が73%(全国平均43%)）
- ✓ 市内のパブリック充電は、急速56基、普通90基の合計146基
- ✓ **国はグリーン成長戦略の目標達成に向け補助を実施**(EV⇒**最大92万円**)
- ✓ **近年EV等の車種の種類が充実してきており**、一充電で走れる距離が長いものや、軽自動車のEVも発売されるなど、使い方に応じてユーザー側の**選択肢が広がってきている**

⇒国の規制緩和等、**社会情勢の変化を注視し、対応することが必要**

## 3 川崎市地球温暖化対策推進基本計画で掲げる目標等



## 4 EVに関連した課題

### 共同住宅における課題

- 本市は**充電設備の設置に課題**がある**共同住宅の割合が多い**
- 分譲マンションの**管理組合における合意形成の難しさ**
- 新築の共同住宅への設置に対するインセンティブの不足

### パブリックの充電設備に関する課題

- **充電環境に対する不安感**が根強い
- 充電設備の入替の必要性

### EVカーシェアに関する課題

- 通常のカーシェアと比べ**導入、維持コストが高い**



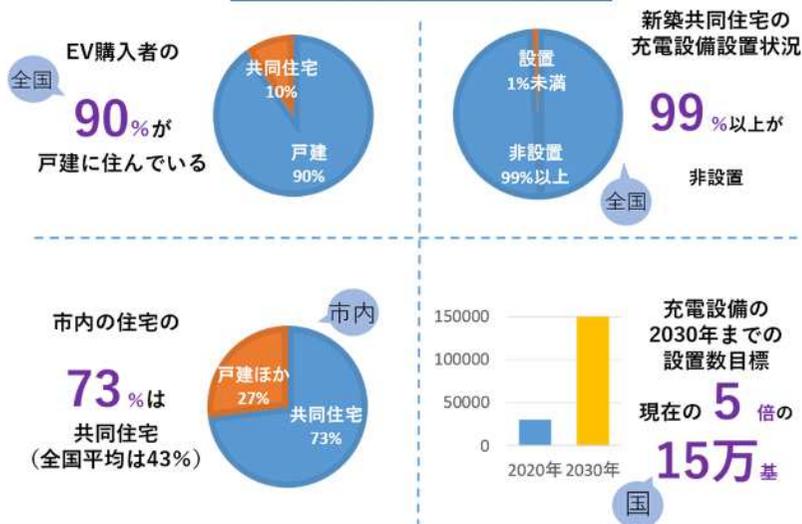
# 川崎市次世代自動車の普及に向けた充電インフラ整備の考え方【概要】 2/2

## 5 重視すべき視点

### 本市特有の状況を意識した取組を展開する

- 特に課題となる**共同住宅に居住している人**を重視
- どうすればEVの導入に前向きになれるか、積極的に導入するようになるかという点に着目した取組を行う

### 市域におけるEVの普及へ



## ● 第1の柱 共同住宅向けの取組 **重**

- ✓ 補助等のインセンティブによる共同住宅への設置への動機づけ
- ✓ 設置に係る導入手引きの作成・活用
- ✓ 建築物環境配慮制度を活用した共同住宅における普及
- ✓ 総合調整条例の冊子等による普及促進の仕組づくり
- ✓ 分譲マンションの管理組合のサポート
- ✓ 住民の意識変容に向けた普及啓発の取組



## ● 第2の柱 パブリックの充電設備の取組

- ✓ 公共施設における整備
- ✓ 税減免措置の周知による整備促進
- ✓ 充電マップの公開

## ● 第3の柱 EVカーシェアの取組

- ✓ 市内をフィールドとしたEVカーシェアリングの実証
- ✓ 社用車等への導入
- ✓ 共同住宅におけるEVカーシェアの普及促進
- ✓ EVカーシェアマップの作成・公開
- ✓ 住民の意識変容に向けた取組



## ◆ 関連取組～脱炭素アクションみぞのくちにおける取組～

- ✓ 脱炭素アクションみぞのくち推進会議の会員と連携した取組
- ✓ 燃料電池自動車の普及に向けた取組
- ✓ 社用車等へのEVカーシェアの導入（再掲）



## 6 取組の3つの柱

### 第1の柱 共同住宅向け

**重**

EVの普及が進みにくい共同住宅の割合が高い本市において、共同住宅に向けた取組は特に重要となります。共同住宅に居住している人が安心してEVを導入できる充電インフラ環境を整えるための取組を実施します。

### 第2の柱 パブリック

グリーン成長戦略で掲げる国の目標を踏まえるとともに、EVの普及の足かせとなっている市民の充電に対する不安感の解消に向けて、パブリック用の充電設備の充実に向けた取組を行います。

### 第3の柱 EVカーシェア

環境に優しい取組である一方、コスト面の課題からなかなか導入が進まないEVカーシェアについて、導入を促進する取組を実施します。